

授業科目	日本の歴史と文化地理 I				単位	2		
履 修	選択	関連資格	日本語教員		ナンバリング	EN11306J		
開講年次	1	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP2-1 DP3-1 DP4-3 DP5-2			
担当教員	清水 順子							
授業概要	これまでの学校教育や生活の中でおぼろげに“知っている”日本の歴史、文化地理について、自ら調べ・考え、他者に表現し、それに対する他者の考えを知ることを通して、自分のものとして理解していくことをめざす。このために、授業では教員による講義とともに受講者によるプレゼンテーションとフィードバックを主軸とする。また、通訳案内士試験を念頭に、毎回の授業の初めに基本的な事項の確認も行う。							
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 日本の歴史・文化地理に関する基盤的知識を習得する。 日本の歴史・文化地理について自分自身の見方・考え方を持つことができる。 日本の歴史・文化地理について他者に自分自身の見方・考え方を表現できる。 							
達成度評価								
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考
総合評価割合	0	0	30	30	30	10	100	
知識・理解 (DP1-1)			6	6	6	2	20	
知識・理解 (DP1-2)								
知識・理解 (DP1-3)								
知識・理解 (DP1-4)								
思考・判断 (DP2-1)			6	6	6	2	20	
思考・判断 (DP2-2)								
関心・意欲 (DP3-1)			9	9	9	3	30	
関心・意欲 (DP3-2)								
態度(DP4-1)								
態度(DP4-2)								
態度 (DP4-3)			4	4	4	3	15	
技能・表現 (DP5-1)								
技能・表現 (DP5-2)			5	5	5		15	
技能・表現 (DP5-3)								
具体的な達成の目安								
理想的レベル				標準的なレベル				
日本の歴史・文化地理についての豊富な知識を背景に、他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき自らの考えを持つとともに、それを他者と共有していくことができる。				日本の歴史・文化地理についての基本的知識を他国・地域の歴史・文化地理との対照に基づき身に付け、かつそれらを批判的に検証する中で自らの考えを構築し、表現できる。				
授業計画								
進行	テーマ・講義内容			授業の運営方法		学習課題(予習・復習)		予習・復習時間(分)
1	オリエンテーション 日本地理の基礎確認／文化地理とは			オリエンテーション、講義		レポート作成		120

2	日本史の基礎確認 歴史と文化について	基礎知識確認小テスト、講義	(予習)自分のテーマを決め、 動機をまとめる	60
3	トピック1日本の文学:短歌・俳句・文学 ガイド対策 地理1:日本の気候	基礎知識確認小テスト、講義	(復習)授業振り返り記述	60
4	トピック2伝統芸能①:能, 歌舞伎, 他 ガイド対策 地理2:日本の地形	基礎知識確認小テスト、講義、DVD 視聴、コメント記述	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
5	トピック3伝統芸能②:能, 歌舞伎, 他 ガイド対策 地理3:文化財・記念物	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
6	トピック4伝統芸術①:生け花・茶道 ガイド対策 地理4:日本の世界遺産	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
7	トピック5伝統芸術②:絵画・陶芸・民芸 ガイド対策 地理5:日本の自然公園	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
8	トピック6伝統芸術③:盆栽・庭園 ガイド対策 地理6:日本の山・川・湖沼	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
9	トピック7建築・住居:代表的建築物・建築様式 ガイド対策 歴史1:日本史概観	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
10	トピック8日本の宗教文化:宗教文化・建築 ガイド対策 歴史2:古代	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
11	トピック9伝統行事・年中行事・祭り ガイド対策 歴史3:中世	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
12	トピック10日本の風俗・習慣 ガイド対策 歴史4:近世	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)発表準備	60
13	トピック11食文化と日本人 ガイド対策 歴史5:近代 歴史6:現代	基礎知識確認小テスト、学生の発表と シェアリング、講義	(復習)授業振り返り記述 (予習)レポート作成準備	60
14	各発表に対する意見交換	文化のとらえ方に関する講義	レポート作成	60
15	総括	レポートのシェアリング	レポートの自己評価・ピア評価	60
16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				

24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	日本の歴史・地理に関する高校までに学ぶ基礎概念			
テキスト	授業中に資料を配布する			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	適宜授業中に紹介する			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	<p>・本授業は通訳案内士試験への知識的基盤を提供するものであり、本授業の受講のみでは通訳案内士試験の合格はできません。受験を考えている学生は参考図書、問題集で自律的・意欲的に学習を進めてください。</p> <p>・自身のプレゼンテーション、他者のプレゼンテーションを聴く・フィードバックを行うことで学習効果は変わります。ぜひ、能動的・主体的参加を心掛けてください。</p>			
達成度評価に関するコメント/課題に対するフィードバックの方法	<p>期末提出レポートをもって試験に代えます。単なる知識の有無ではなく、発表、レポートにおける思考の深さ・多角性・独自性を評価します。評価における「その他」では、授業中のグループディスカッションや学生間、教師との質疑応答での発言内容の知識理解と思考の深さ・判断の適切さと根拠の明示・独自性・新たな視点の獲得・積極性および他者の意見の傾聴を評価します。プレゼンテーション、レポートをインターネット記事のコピー&ペーストで構成した場合、評価不能とします。</p>			

